

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	用地買収の目途が立ってから、計画等の話を行うべきだ。	工事に要する期間などスケジュールに余裕がないため、計画の策定と同時並行で進めています。
2	自治会長は年度ごとに交代する。長期間の事業をどのように引き継いでいくべきか検討が必要。	毎年度、全ての経過を伝えることは困難であるため、概要を毎年度説明します。各自治会においても、役員引継ぎ時に資料を引き継ぐ等の協力をお願いします。
3	地下水調査について、施設内に既存の井戸はないか。	施設内に既存の井戸は確認しておりません。
4	総合運動場と近江高校の境界部に存在する井戸は、水が漏れる可能性があり、苦情も聞いている。	当井戸は、ポンプの能力不足でピットから溢れたことがありましたが、現在では修繕済みと伺っております。
5	騒音の調査データは平常時のものか。高校野球開催時などイベント時のデータはないか。	平常時のデータです。今後、夏の高校野球予選開催時にも調査します。
6	現在の環境状態を調査対象としているが、これを工事にどう活用するのか。	施設建設時や施設供用後の予測評価に活用します。
7	現状の測定値に対し、計画推進による悪化度合いを、どこまで抑制できるのか公表するのか。	現状を分析し、工事等の影響を予測することで、必要な環境保全措置を検討します。その結果は、今後の設計にも反映させる予定です。
8	工事の各節目にデータを取るのか。工程の変化点のデータを初期データと比較いただきたい。	事業の大きな節目の際にはデータを取る必要があると考えています。
9	振動レベルの最大値10%がデータから除かれている点に納得いかない。体感上一番感じるレベルが除かれるのはおかしい。	調査方法は、定められた調査手法によるものであり、一般的に確立した方法です。今回の調査では特に大きな騒音データはありませんでした。
10	工事着手後は大型ダンプの通行が日常的なものになる。参考値としてピークの大きさや頻度を示すべき。	大型車両の通行による影響も検討に加えます。データの公表については、内容や公表の方法についても、今後検討します。
11	臭気の調査は行わないのか。また、夜間の騒音レベルはこんなに高いのか。	今回の施設整備に関して、臭気は調査対象としていません。 騒音については、環境基本法等に基づき適正に調査した結果で、22時～8時の間において評価した結果です。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	松原町の新設道路区間は、出口の湖岸道路が常に渋滞しており、事業効果が見込めない。むしろ松原橋の渋滞対策こそ必要。	今後、十分検討してまいります。
2	新設道路区間を使用するのは北から南に向かう人なので、他に南に通じる道路を考えるべき。	当道路の整備により、北から来る車を松原橋から分散させたいと考えています。ご意見については慎重に検討してまいります。
3	北から来る人を国道8号線に逃がす方針は間違っている。湖岸道路を長浜から大津に向かう場合、国道8号線は遠回りになるので、みんな湖岸道路を利用する。	ご意見として承ります。
4	通学路の安全確保をどう考えるか。	安全確保について、十分配慮してまいります。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	計画地に小学校と幼稚園が所在するため、防犯の観点から検討を行うべき。	安全安心の地域づくりの観点から、防犯灯の設置など今後、住環境に配慮した設計を検討してまいります。
2	小学校や幼稚園の児童の登校登園に際し、工事中の大型車両通行にかかる安全対策を考えているのか。	工事中の安全対策は、平成28年度以降に工事用車両の数や通行ルート等について検討してまいります。
3	庭球場や第3種陸上競技場に設置する夜間照明が周辺地域に与える悪影響をどう考えるか。近隣の金亀公園の夜間照明は非常に眩しい。	第3種陸上競技場や庭球場の照明は、高さ5m程度の上を照らさず面を照らす設備を予定しています。技術的検討のなかで競技団体や住民の皆様のご意見を伺い、検討してまいります。
4	オリンピック会場は2,500億円。県の施設は誰が設計し、事業費はいくらかかるのか。	今後、建築設計に入り、その後業者を決定しますが、選定方法については検討中です。事業費は、昨年度の主会場選定専門委員会において、概算で182億円と試算されています。県は、これを踏まえ今後の設計段階において精査してまいります。
5	第3種陸上競技場の照明により田に被害が生じた場合の対応を考えているか。	光害は今後の検討課題です。光が拡散しない器具を採用するなど検討してまいります。
6	環境調査の景観写真は、住民が住むところではなく地域全体から見た風景。地元住民の視点からの風景をシミュレーションできないか。	施設の見え方について、3次元のシミュレーションを作成しているところです。今後、地元の方にもご覧いただき、設計にも反映させたいと考えています。
7	当説明会の対応は、県が地元に対し「こんなもんでいい」と考えているように受け取れる。質疑の回答が非常に事務的で、決まっていないことばかり。	現在、公園整備に関する基本計画を検討中であり、詳細な説明ができる段階ではありませんが、検討過程で、その時々のご事業進捗をご説明させていただきたいと考えています。
8	市民としては、庭球場よりも市民体育センターの方が価値ある施設。庭球場を移設して体育センターを建築するよう検討すべき。	整備する施設を検討した結果、現在の利用状況等から庭球場を整備する必要があると判断しました。市民体育センターについては、彦根市にて検討していただきます。
9	以前の計画案では、多目的広場があり、現在の緑の広場の位置に庭球場があった。今後変更はありうるのか。	多目的広場は、彦根市の金亀公園の再整備において機能が確保される予定です。緑の広場は、有識者会議等において、運動施設ばかりでなくオープンスペースが憩いの場としても必要になるとの意見をいただいたことから選択しました。
10	緑の広場を公園敷地の北部（庭球場予定地）に移すことを考えられないか。	公園の中央には庭球場を配置するのに必要な十分なスペースが確保できないこと、また、利用者がエントランス広場から入り、各運動施設に移動する動線を考えた場合、人が集まる中央に広場を配置することが望ましいことなどから現在の配置としました。
11	第1種陸上競技場、第3種陸上競技場の2つの競技場は、どうしても2つ必要なのか。	第1種陸上競技場は、日本陸上競技連盟の公認の基準によりウォームアップ施設として第3種陸上競技場の設置が定められているため、それぞれを整備する必要があります。
12	陸上競技場に国体開催後の利用計画はあるのか。	滋賀県には第1種および第3種陸上競技場を備えた施設がなく、公式大会を開催しづらい背景があります。今後の競技力の向上や子どもの育成を考えると、日本陸上競技連盟の公認を継続していく必要があります。また、グラウンド部分はサッカーやアメフト等で利用できます。
13	障がいのある方が自由に入出りでき、一般の方と一緒に観戦できるよう配慮した設計にしたい。	エレベーターや車いすの回転場を設置するなど、ユニバーサルデザインについて、考えてまいります。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
14	庭球場を国体会場として使用する構想はあるのか。	当公園では、開会式と閉会式、陸上競技に日数を要し、期間中は多数の施設を設置するため、他種目を行うことはスペース的に困難です。
15	テニスの国体会場にしないのであれば庭球場は不要ではないか。	テニスの大きな大会は、彦根と長浜に跨り開催する機会が多く、1箇所では開催が困難です。また、希望ヶ丘文化公園は、市街地や公共交通機関から距離が離れており、大会運営上不便です。庭球場は、利用率が高い施設であるため、必要であると判断しました。
16	Jリーグやアメフトの社会人リーグの利用を想定しているのか。	固定席を1万5千席程度確保する予定であり、J2リーグでの利用が可能です。J1リーグについては、当初からの対応は考えておりませんが、将来の拡張余地を残します。ラグビーやアメフトの社会人リーグにも利用可能であるため、大会を開催できるよう努力いたします。
17	運動公園は誰でも入れる施設なのか。駐車場は夜間も使用できるのか。	基本的には常時開放を想定していますが、防犯の観点から夜間の入場制限について検討したいと考えています。
18	緑の広場にベンチ等の施設は設置しないのか。	緑の広場の一部に小規模の築山と傾斜を設ける予定です。また、百間橋のイメージを伝承する園路整備や、木陰を作るために植樹を考えています。遊具については、住民参画等を得ながら検討してまいります。
19	騒音の資料で、地点⑤（城北小学校裏）が夜間の環境基準を超えているのは何故か。ここは人も通らない場所であり、機材に不具合はないか。	夜間は人がいないものの、県道等の騒音が影響しているものと思われます。環境基準の50dbは静かな事務所レベルの騒音であり、大きな騒音が常時あるものではありません。機材については、検定を受けた機材を使用しており、不具合はありません。
20	スタジアムが完成すれば花火大会以上の騒音ができる。	環境調査により施設整備後の影響を予測し、調査結果に応じた対応策を検討してまいります。
21	周辺地域の幹線道路の整備予定はあるのか。	国事業の国道8号のバイパス事業や、県事業では県道原松原線の整備計画があると伺っています。
22	工事中の周辺の店舗に対する配慮や対応をどのように考えているか。	地域の環境への配慮については、継続的に対応してまいります。工事に際し、低騒音重機の使用や工事時間の制限等の対策に環境調査の結果を活かしてまいります。
23	陸上競技場の近くに体育センターがあることで、陸上競技場にとってもメリットがあったのではないかと。切り離すことにより不具合が生じることはないのか。	陸上競技場と体育センターの相互利用や補完関係は把握しておりませんが、スポーツ施設が集まることで人が集まりやすかった面はあると考えています。
24	市民体育センターは平成29年度から解体されるが、利用者は他の施設を探す必要がある。解体を延期し、空白期間を短縮できないか。	解体のスケジュールは、平成28年度以降の検討事項です。現在は平成29年度後半を予定しておりますが、市教育委員会と協議のうえ検討してまいります。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	周辺地域の幹線道路の整備予定はあるのか。	公園の外周整備として、城北小学校の北側道路を拡幅し、両側に歩道を整備します。大黒川沿いの道路も同様に整備します。
2	工事中の周辺の店舗に対する配慮や対応をどのように考えているか。	営業中で工事が支障となる店舗には、通常、看板の設置等により対応していますが、事前に協議したうえで対応します。併せて歩行者の安全確保についても動線を確保して対応いたします。
3	周辺市道や河川整備について、地元は既に知っている。市はきちんと説明すべき。	市道は先に説明したとおりですが、松原町の新設道路区間は、地権者から様々な意見をいただきましたので、見直しを含め検討いたします。河川は、大黒川の護岸整備と大洞川上流部の護岸整備を計画しております。
4	川を綺麗にしようと努力しており、先日も大洞川を清掃していたら自転車が捨てられ、悪臭がする。綺麗にならないものか。	河川の水質は、琵琶湖の水位に影響されるため、改善は困難です。河川整備時に生物調査を行い、対応について十分検討してまいります。
5	運動場はスポーツ拠点であるとともに防災拠点でもある。防災拠点である市民体育センターを解体後、この地域に建設するよう要望する。	市民体育センターは、5月に県から撤去要請がありました。市は検討委員会を立ち上げるほか、市民を対象としたアンケートを実施いたします。できる限り体育センターがない空白期間を短縮するよう考えています。
6	市民体育センターの検討委員会は何を検討するのか。	施設の場所や大きさについて検討いたします。
7	アンケート調査の対象は誰か。	市民2千人を対象とします。無作為抽出で対象者を選定し、郵送により調査します。
8	アンケート調査を市民11万人に対し2千人調査とした根拠は何か。宇和島市は、人口6万人に対し3千人を調査している。2千人調査では地元の意見が届きにくい。また、アンケートの内容はどのようなものか。	彦根市の人口規模では2千人で一定の指標になると伺っています。アンケートの内容は検討中です。
9	解体後、新設された市民体育センターで国体開催時に競技を行うよう検討しているのか。	施設の規模等を今後検討する段階であり、対応する競技について現在は回答できません。
10	陸上競技場の近くに体育センターがあることで、陸上競技場にとってもメリットがあったのではないかと。切り離すことにより不具合が生じることはないのか。	陸上競技場との協力関係については、市民の意見を伺ったうえで検討してまいります。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	庭球場は幼稚園の横に位置しているが、テニスは大会開催時の打球音、選手交代等の放送ならびに選手の声大きい。以前は案1（多目的広場案）と案2（現案）の2案の計画があったが、騒音の観点から案1の採用を希望する。	以前は案1、案2の2案を検討しておりましたが、エントランス広場から各施設への人の動線を考慮した結果、幼稚園横に庭球場を配置する案を採用しました。騒音対策については、緑地帯の設置により音を緩衝する等の対策を検討してまいります。
2	軟式テニスの国体会場は長浜に決定した。硬式テニスの会場は彦根にするのか。	硬式テニスの会場は未定です。当公園では、開会式と閉会式、陸上競技に日数を要し、期間中は多数の施設を設置するため、他種目を行うことはスペース的に困難です。
3	プールと庭球場を比較した場合、プールは静かで地域住民に貢献する施設。庭球場の騒音対策が十分できないならプールに変更すべき。	プールについては、国体開催後の利用を検討した結果、他所で整備するよう検討しています。
4	ジョギングコースは外周をぐるっと回れるように整備すべき。	ジョギングコースは、第1種陸上競技場の外周から野球場や第3種陸上競技場の外周を通り、園内を一周する配置を予定しています。
5	ジョギングコースは、庭球場付近にコースがない。	コース設定にあたり、庭球場付近の敷地に余裕がありませんが、周辺歩道の利用により設定が可能か検討してまいります。
6	施設内を車いすや幼児が安心して通行できるように広い歩道を整備するとともに、競技場から小学校まで周遊できるように整備すべき。	ジョギングコースは、2.5m幅で車いすの方が介助者と一緒に歩くのに十分な幅があります。小学校から直接連絡する通路設定については、安全管理の徹底が求められるため、関係機関と協議のうえ連携して進めてまいります。
7	ワークショップを予定しているが、対象は地元の住民か市民全般かどちらで考えているのか。	地元以外の市民も参加できますが、基本的に地元の方を対象とする予定です。
8	ワークショップを市民が開催してもよいか。	開催手法としては結構ですが、県と住民が連携、協力し、情報を共有したいと考えます。
9	ワークショップで子どもに絵を描いてもらい、子どもが希望する施設などを今後の設計に組み込むことは可能か。	基本的に現在の案により施設整備を行うため、新たな施設の整備など大きな変更は考えておりません。ワークショップの内容は、植栽する樹種や遊具、施設の色遣い等を想定しています。
10	植栽する樹種に県の木を選定する他にも、今ある木を残すのも一案。子ども達に木を伐る様子を見せるのは好ましくない。	現在ある木をそのまま活用することや、移植についても検討してまいります。
11	用地取得を2年間で行う計画だが、施設配置の案は、全ての用地取得がこれからという中での計画か。	事業用地については、来年度から関係者のご協力を得ていく予定です。
12	国体開催後2年間に行われる工事の内容は何か。	国体開催中は人が多く集まり、多くの仮施設を設置する必要があります。これらのスペースを確保するため、フェンスの設置や植栽等の一部の工事を国体開催後に行う可能性があります。
13	第1種陸上競技場は、1万5千の固定席で2万人の収容人数だが、Jリーグでは2万席の固定席が必要となる。当初からの整備を考えないのか。	Jリーグの基準では、新設施設の場合、J2で1万5千席、J1で2万席が必要と定められています。設置当初からのJ1対応は考えておりませんが、将来必要となった場合に対応可能な余地を確保する予定です。
14	他サッカー場では選手用入口までバスが横付けすることで、選手と一般ファンを離している。J1対応を前提に、こうした対応を検討しているのか。	公園設計全体の中でバスや人の動線を検討してまいります。サッカーについては、J2に対応できるように検討しております。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
15	1～2万人が集まった場合の車の渋滞対策として、車両通行の大まかな流れを知りたい。彦根インターへ抜けるのか、町なかに流れるのかどちらか。	渋滞対策としては、道路部局において、県道では原松原線の整備計画、国の事業では国道8号バイパス事業が進められています。公園計画においても、交通量の現状のデータを取り、車の流れを調査して、設計に活かしたいと考えています。
16	利用者は、早朝から大型バスで来場し、夕方に一斉に出ていく。出入り時の交通状況に十分配慮いただきたい。	各種競技の利用団体や大会主催団体に情報提供いたします。
17	彦根城と当公園相互の人の流れについて、歩道橋やそれ以外の動線整備は県市どちらが行うのか。	まちづくりは市の行政分野となりますが、動線が現在の歩道橋のみでは危険性も考えられますので、市と連携して検討してまいります。
18	第3種陸上競技場の盛土の高さはどれくらいか。どこから土を持ってくるのか。	第3種陸上競技場の地盤整備や排水計画等については、今後の設計で検討してまいります。
19	計画地は3つの学校等に囲まれている。城北幼稚園、城北小学校、近江高校のそれぞれから意見を聴く場が必要ではないか。	現在は、施設管理者に対して説明、協議しております。
20	駐車場が分散配置されているが、駐車場間の移動は園内で可能か。一旦公園施設の外へ出る必要があるのか。一旦出る場合、車が住宅地に入らない形が望ましいが可能か。	園内は利用者の安全面を考慮し、車両の通行を禁止するため、駐車場間の移動にあたっては、一旦公園外に出ていただく必要があります。市において周辺市道の整備が行われる予定であり、これによりスムーズに移動できるものと考えます。
21	説明会の主催が誰か明記しておらず、責任の所在が不明確。	説明会は、県が担当しています。
22	説明会に誰が参加してもよいとなっているが、地元住民だからこそその意見がある。地元住民を対象に説明すべき。	説明会は、地元の皆様を対象に案内しています。
23	体育センターの移設について、県は、市が考えることと回答しているが、利用者は県民である。県としての考えを示すこと。	市民体育センターは、市民利用が主体の施設です。利用率の高い施設が無くなることについては、県と市が連携して対応すべき課題であると考えています。
24	補償金の支払いを市民体育センターに対して考えていない理由は何か。	補償が必要と判断した場合は補償します。今後、市と協議して対応を検討してまいります。
25	市民体育センターは利用頻度が高い重要な施設であり、ここでしか出来ない大会もある。庭球場の計画位置に庭球場よりも体育センターを整備すべき。県は体育センターの土地だけでも市に提供すべき。	県域以上の大会でテニス会場を考えると、軟式テニスは長浜豊公園、硬式テニスは長浜ドーム、彦根総合運動場、希望が丘文化公園しかありません。庭球場は利用率が高く、また、県域以上の大会が開催できるような環境を整備する必要があります。市民体育センターの移設は、市が検討しておられますので、県は市の計画の進捗状況を伺いながら事業を進めてまいります。
26	駐車場満車時に敷地内で移動できないと地域住民の生活に支障が生じる。事故が発生したら全て県の責任である。	駐車場間の移動は、周辺の市道や県道を利用することになりますが、案内を充実する等工夫したいと考えています。
27	駐車場の空き状況を表示する電光掲示板の設置を検討しているか。	町中の競技場では、園内の駐車状況が分かるように、各ゲートに掲示板が設置されている事例があります。こうした事例を参考に検討してまいります。
28	照明設備に関する環境調査はどうなるのか。	今後、光害の調査についても検討してまいります。施設整備による影響を調査したいと考えています。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
29	騒音の調査のうち地点③（大洞川沿い）で野球場使用時のデータはないのか。	現在のデータは野球場利用の無い状態のもので、今後、高校野球予選時のデータを取る予定です。
30	野球場の騒音データは、最高音量のデータ等を参考に示すこと。庭球場についても同様に示すこと。	検討してまいります。
31	松原の商業施設の盛土工事の際、地震のような酷い振動があった。工事の前後に振動の調査を大洞川の周辺家屋に対し行うのか。	工事におけるダンプ等大型車両の通行について、今後、台数等を検討してまいります。工事前の調査としては、地盤や建物の調査について今後計画してまいります。
32	スケジュールに環境関連項目がないが、環境アセスはどの段階で行うのか。	計画規模は環境アセスの対象外ですが、大規模な施設整備となることから、現在、環境調査をアセスに準じて行っているところです。
33	当地は元々干拓地であり地盤が弱い。施設整備後、競技場に段差が生じかねない。軟弱地盤対策を考えているか。	第1種陸上競技場および第3種陸上競技場ともに厳しい施設基準があることから、地盤改良工事を行うことで対応する予定です。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	1～2万人が集まった場合の車の渋滞対策として、車両通行の大まかな流れを知りたい。彦根インターへ抜けるのか、町なかに流れるのかどちらか。	周辺の市道を整備するとともに、国体開催中は郊外に駐車場を設け、シャトルバスでピストン輸送を行う予定です。市道の整備については、H27年度中に基本的な設計を検討するとともに、国体開催までに道路整備を完了する予定です。
2	彦根城や公園の人の流れについて、市の都市計画部局としては、橋や人の動線をどのように考えているのか。	金亀公園と当公園は、三の丸橋と県道上の歩道橋の2つの橋で連絡しています。両公園の一体的な整備や彦根城との連携を含め、県市連携して検討してまいります。
3	周辺市道の拡幅を行うのか。	周辺市道を2車線16mに拡幅するとともに、両側の歩道整備により歩行者や自転車の安全を確保する予定です。松原町農地区域の新設区間は見直しを含め検討します。河川整備では大黒川と大洞川について護岸整備を行う予定です。今年度は測量と基本設計を行います。
4	大洞川の整備はどのようなものか。大洞川沿いの道路整備によりグリーンハイツの住宅地の中を車が通ることになるのか。	現河川の幅のまま上流部の法面整備を行う予定です。大洞川の西側道路も併せて整備しますが、グリーンハイツ側は現状と変わりません。詳細は、来年度設計する予定であり、計画段階で改めて説明いたします。
5	大洞川西側の農道部分は、近江高校入口まで車が通行できるようになるのか。	現在は車は通行できません。土地改良区とも協議して進めてまいりたいと考えています。
6	公園内の駐車場間移動において、公園内を通行できないのであれば、車は大洞川沿いから住宅地を通るのではないか。	当道路は河川管理用道路であり、一般車が通行できない形が望ましいと考えています。
7	市民体育センターの移設の状況はどうなっているのか。	市民体育センターは市の施設であるため、市が対応いたします。県からの移設要請を受けたことから、今後、検討委員会を設置し、施設の場所や大きさを検討する予定です。
8	市民体育センターを国体前後のいずれの時点で整備するのか。	解体から新設までの空白期間を短くしたいと考えています。時期については、国体に間に合うよう整備したいと考えています。
9	市民体育センターの計画や金亀公園の再整備計画は平成27年度中に市民に公表するのか。	市民体育センターは、平成27年度末を目途に計画を策定する予定です。金亀公園は、施設改修と再整備を行います。H27年度は基本計画を策定する予定です。